

日時：2017年10月28日(土) 13:00~16:00

場所：東京大学柏キャンパス基盤科学研究系 2階大講義室



マテリアルズサイエンスイノベーションの未来

— 情報、ナノ、イノベーションの実践 —

新しいものづくりの方法として分子設計や材料開発と情報科学の融合が進んでいます。この分野のフロントランナーの先生方が、分子・ナノテクノロジー、情報科学、イノベーションに関する最先端の話題を分かり易く解説します。最近話題のAIやナノテクノロジーなどに興味のある学生や一般公開にご来場の皆様の知的好奇心を満たす場として気軽に聴講して下さい。

プログラム

1) 13:00~13:45

東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻

船津 公人 教授

「分子設計・材料設計・プロセス設計のためのデータ駆動型化学
～材料設計・プロセス設計・品質管理と制御の連動～」

2) 13:45~14:30

東京大学大学院新領域創成科学研究科 複雑理工学専攻

岡田 真人 教授

「スパースモデリングとマテリアルズインフォマティクス」

3) 14:30~15:15

東京大学大学院新領域創成科学研究科 物質系専攻

有賀 克彦 教授

「どうやって動かす分子マシン・ナノカー：超極小ナノ針で？自分たちの手で？」

4) 15:15~16:00

文部科学省 科学技術・学術政策研究所科学技術・学術基盤調査研究室

室長 伊神 正貴 氏

「論文分析から見えるマテリアルズサイエンスの現状と日本のポジション」

主催：東京大学大学院新領域創成科学研究科

問い合わせ：大友順一郎（環境システム学専攻） 04-7136-4714 otomo@k.u-tokyo.ac.jp

シンポジウム詳細・講演概要 ⇒ <http://www.fsmsi.k.u-tokyo.ac.jp>